

ホワイトニングを希望される患者さんへ

ホワイトニングを行う事によって、現在の歯より、明るさ、透明感が増します。

ホワイトニングの効果については個人差があり、色の変化や改善に時間がかかる場合もあります。

持続期間

ホワイトニング効果の持続時期は、変色の原因や生活習慣などにもよりますが、平均的に1年半ほどです。

3～6カ月毎の定期的なクリーニングと6カ月～1年後の再ホワイトニングにより、その白さを保つ事が出来ます。

禁忌

妊娠中・授乳中の方は、時期をずらしてホワイトニングを行うことをお勧めします。

注意事項

ホワイトニングにより、知覚過敏（歯がしみる感覚）、歯ぐきや歯の痛み等が生じることが、稀にあります。

これらの大部分は一時的なもので、通常は2～3日で治ります。

ホワイトニングを行うと歯の表面に点状に白い部分や、茶色の縞模様（しまもよう）が、現れることがあります。これは、歯に元々あるものがホワイトニングにより強調されたものです。数週間から数カ月経つと、周りの色と馴染んでいきますが、それでも気になる場合は、強調された部分を削って白い詰め物をする等の処置が必要になります。

通常、ホワイトニングにより、神経のある歯の色調は明るくなります。しかし、神経の無い歯の変化は小さくなります。また、現在お口の中にある充填物（つめもの）、や補綴物（かぶせもの）の色調は変化しません。そのため、これらの部分の色調が異なって見える様になりますので、目立つ場合にはこれらの歯の治療をやり直す必要が出てきます。

ホワイトニングの効果を最大限に引き出す為、24時間は、色の濃い食べ物、飲み物（コーヒー、カレー、赤ワイン等）は控えてください。また、24時間は禁煙して頂く事をお勧めします。

ご不明な点やご心配な点がございましたら遠慮なく当院スタッフまでお尋ねください。